

令和 7 年第 3 回定例会一般質問通告事項

9 月 3 日	前 田 孝 人 議 員（潮風おのみち）	質問方式：一括質問方式
	1 いま一度立ち止まって再検討すべきである予算計上せずに止まっている新病院移転新築計画について (1) 広島県や J A 尾道総合病院との協議、調整はどこまで進んで、どこまでが確認できているのか示せ (2) 新病院移転新築を押し進めていくのか、中止するのかあるいは変更するのか、「新築計画が止まっている今こそ、その時」と思っている。いま一度立ち止まって振り出しに戻し再検討すべきであるかどうか 2 市民病院と公立みつぎ総合病院の再編統合について (1) 人口 12 万 5,000 人、15 年先には 10 万人を切ると言われている尾道市が厳しい経営に直面している 2 つの市立病院を将来にわたって今までと同じように経営していくことには無理があるかどうか (2) 両病院を再編統合し（仮）地方独立行政法人尾道市病院機構として独立採算で運営すべきである。その中で新築論議のある市民病院は治す医療として「急性期医療」「救急医療」や「政策医療（がん、災害、感染症等）」を集約し、引き続き尾三圏域の中核病院としての役割を担うこととする。また公立みつぎ総合病院は「新たな地域医療構想」を見越して（仮）みつぎ医療センターとして治し支える医療の「回復期機能」に「高齢者等の軽症急性期患者を受け入れる医療提供機能」を加えて治療と入院早期からリハビリ等を行い、早期の在宅復帰を目的とする（仮）「包括期機能」に特化してはどうか (3) 現在門田町に外出ししている夜間救急診療所また当番医にお願いしている休日診療。これをあわせて再編統合後には市民ファーストの観点からも常設の休日・夜間診療所として新市民病院に併設することを強く求めるかどうか 3 手術支援ロボット「ダビンチ X i」の市民病院への導入について (1) 新病院ではなく経営が大変厳しく改善を優先するとした現病院への導入である。これは妥当なのか。また経営、収支に及ぼす影響は大丈夫なのか (2) 「ダビンチ X i」は費用 2 億円。手術件数は年間 150～200 件以上なければペイできないと言われている。年間何件の手術を予測しているのか	

9 月 3 日	(3) 医療技術のレベルアップとともに医師確保の役割も期待できるとしているが現在操作できる医師は何人いるのか 4 みつぎ病院の経営計画について (1) 一時期は運営、財政的にも優等生と言われていたみつぎ病院である。それがなぜこのような厳しい経営状態に陥ったのか。またその原因は何だと思っているか (2) なぜみつぎ病院の今後の方向性、あるべき姿を示す経営計画に市民病院との再編統合のことが出てこないのか。再編統合をどう考えているのか (3) 病床を 199 床にダウンサイジングし稼働率のアップにより収益化を図り 5 年後の黒字化を目指すとのことだが、このことでどのくらいの経営改善になると見込んでいるのか (4) 今回の経営計画には収支計画が全く出てこない。病床をダウンサイジングすること、また病床稼働率をあげることにより診療報酬が大きく増額となるが、それが収支にどう反映するのか全く解らない。収支計画の無い経営計画。計画にはならないと思うがどうか (5) 事業を運営していく事が困難という事で介護福祉事業を民間業者に一括移譲するとのことであるが、職員の身分、待遇はどうなるのか。またこのことでどのくらいの経営改善になると見込んでいるのか
---	---